



子どもたちの

「知りたい」を かなえる取組み

学校と図書館の連携

“学校と市立図書館が連携協力して、子どもたちの読書活動を推進していくこと”これは、令和3年3月に策定した「第2次武蔵野市子ども読書活動推進計画」で掲げている目標の一つです。どのような形で協力が行われ、子どもたちの学びを支えているのかについて、市立図書館の取組みを3つ紹介します。



千川小学校学校図書館サポーター
古田島さん

『ぼくのがっこう』鈴木のりたけ/作・絵 PHP 研究所

★学校図書館サポーターについては2面のコラムで紹介しています!

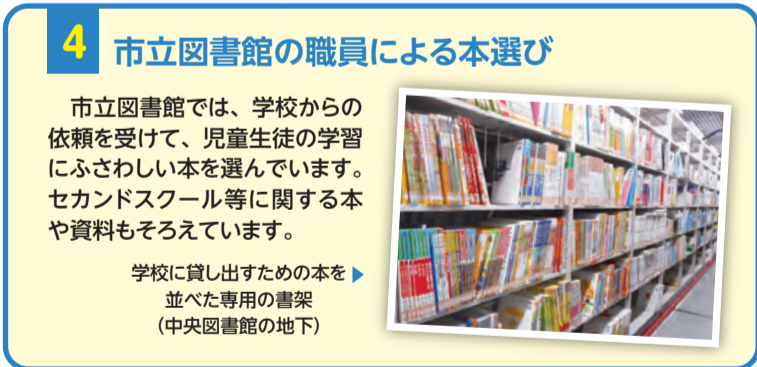
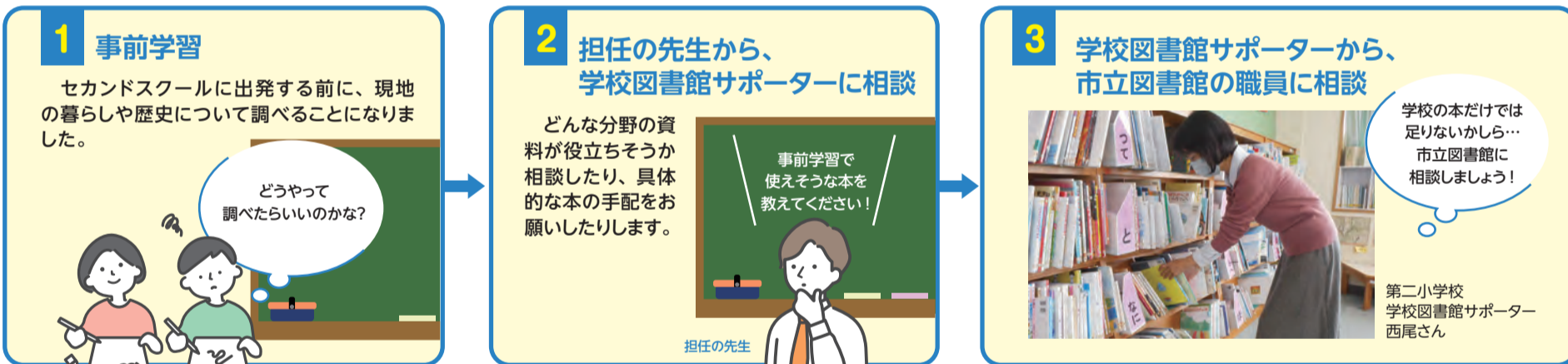
取組み

1 調べ学習に使う本を、市立図書館から学校に貸出

Q 学校で調べ学習をするときに教室に届く本は、どこから届いているの?

A 子どもたちが「おもしろそう!」と手に取りたくなるような本、「もっと知りたい!」という気持ちに応える本を、担任の先生や学校図書館サポーター、市立図書館の職員が協力して収集しています。市立図書館から学校への本の貸出事業は、児童生徒がより多くの本に触れられるようにするために、平成22年度から本格的に開始しました。当初、貸出冊数は年間2000冊程度でしたが、年々増加し、令和3年度には約8000冊の本を貸し出しています。

例えば、セカンドスクール（長期宿泊体験活動）の調べ学習に向けては…



先生の声

忙しい毎日の中で、本を選んでもらえるのは、やはり助かります。なにより、自分も知らなかった本を送ってもらえるので、自分が読んでも楽しいです。これからも本から学びが広がる機会が増えるといいなと思っています。

column

Q 図書館から学校に貸し出すために買う本はどのように決めているの?

A 各学校の図書担当教諭と図書館職員で、年に1回「選書会議」を開催して決めています。事前に学校への購入希望図書のアンケートもおこなっています。

6 子どもたちの元に本が届く

教科書やオンラインを使った学習のほかに、子どもたちの学習に適した本も活用できるようになり、学びの幅が広がります。

いっぱい調べられるね! もっともっと知りたいな。近くの図書館に行ってみようかな!

事後学習でも活用しましょう!

桜野小学校

学校図書館サポーター 田村さん

富田先生

取組み

2

小学3年生の各学級へ おすすめの本を紹介

毎年5・6月、「本を好きになってもらいたい」、「本を読む楽しさを知ってもらいたい」、という思いを込めて、「読書の動機づけ指導」を行っています。市立小学校3年生の各学級に、講師と図書館職員が訪問し、約25～30冊の本を紹介し、各学級にプレゼントしています。



昭和42年に始まった事業で、平成14年には文部科学大臣賞を受賞しています。

取組み

3

図書館や読書に関心をもってもらうきっかけづくり

例えば…

▼中高生の司書体験

図書館や司書の仕事により関心をもってもらおうと、武蔵野プレイスと中央図書館で、中高生向けに司書体験ワークショップを実施しています。普段見ることができない地下書庫を見学したり、本の修理を体験したりなど、図書館の新たな一面を知ることができるワークショップです。



地下書庫見学中

▼小学2年生の町たんけんのお手伝い

小学2年生になると、生活科の学習などで市内の様々な施設を探検します。図書館に来る児童もいます。図書館職員が館内の案内をしたり、様々な質問に答えたりしています。



本の修理に挑戦…!

column 学校図書館サポーターへのインタビュー

普段手にとらない本にも、思わず手をのばしたくなる 本の展示による小さなきっかけが、子どもたちに届きますように!

校長先生おすすめの本や、各学年の単元に合わせた本、図書委員おすすめの本など、本を紹介するポップアップや展示に力を入れています。また新着図書を、入口近くの丸い机の上に並べており、今まで知らなかった本や興味を持っていなかった本にも目を向けてもらえるよう、工夫しています。
(第六中学校 鎌田さん、東さん)



学校図書館に入ってきた生徒はたいてい、この丸い机を一周して眺めています。

新着図書を眺める生徒
(第六中学校)

学校図書館サポーターとは?

平成17年から市内全小中学校に配置。本の展示・修理、新刊本の検品のほか、本棚の整理や児童への読み聞かせなど、その仕事は多岐に渡ります。



本の読み聞かせの様子 (第四小学校)

子どもたちの授業における学びを 本を通して支えたい!

子どもたちに授業の内容に合わせた本が提供できるよう、学年だよりや教科書を読み、これから各教科でどのような本が必要なるかを把握するように努めています。また本の購入に際しては、物語だけでなく、調べ学習用の本などの購入にも気をくばっています。
本を読むのが得意ではなかった児童の成長を見守るのが、何より嬉しいです。
(第四小学校 三十尾さん)

本の好き嫌いにかかわらず、 学校図書館を身近な場所と感じてもらえたら嬉しい。

千川小学校の学校図書館は、子どもたちが毎日使う1階下駄箱のすぐ隣にあり、扉も1日中開放しています。
児童に「自分たちの学校図書館」と思ってもらえたらと、毎月テーマを決めて、学校図書館内の装飾を手伝ってもらっています。飾りつけをするためだけに、学校図書館に立ち寄ってくれる児童もいて、本の好き嫌いにかかわらず、児童にとって学校図書館が身近な場所と感じてもらえていたら嬉しく思います。
(千川小学校 古田島さん)



9月の飾りつけのテーマはとんぼ。児童は、とんぼの形をしたフィルムに色を塗って、貼りつけます。

児童たちの飾りつけ
(千川小学校)



写真左から
第三中学校
吉安さん、多賀谷さん

学校図書館サポーターとしての 喜びを教えてください

学校図書館の温かみのある場所で、生徒たちが心地よい時間を過ごせるように努めています。時に「おすすめの本がおもしろかった」「普段手にとらない本を手にすることができた」と語ってくれることが何よりの喜びです。

学校図書館は、放課後に勉強するための場所としても使われています。



学校用務員
手作りの机
(第四小学校)

学校における 新聞の活用

子どもたちが多様な情報に触れ、活用する力を育むことができるよう、市立小中学校に2紙以上の新聞をとるようすすめています。学校図書館などで自由に読めるほか、図書委員がおすすめの記事を選び、それに合わせた本と共に展示している学校もあります。



各学年の廊下に設置された新聞台
(第六中学校)



図書委員による展示
(千川小学校)

図書館法に基づき 令和4年4月から 武蔵野市図書館協議会を設置

地域から広く意見を求め、武蔵野市らしい特色ある図書館づくりを行うため、武蔵野市立図書館の運営に関して協議しています。

委員は、公募委員3名、学識経験者3名、家庭教育関係者1名、社会教育関係者1名、学校教育関係者2名の計10名で構成されています。



▲会議録はこちら

子どもの権利条例（仮称）制定に向けて

未来を創る 子どもが主役のまちづくり

子どもの権利条例（仮称）とは“子どもにやさしいまちにしていこう”を目指してつくる、武蔵野市ならではのルールのことです。市では令和3年5月から検討委員会を設置したり、中高生世代向けのワークショップやパブリックコメントを実施したりするなど、子どもたちをはじめとする多くの方の意見をくみ取りながら、条例をつくる準備をしています。

子どもたちから、どんな声が寄せられているの？

今年の5～6月にかけて募集した子ども向けのパブリックコメントでは、996人の子どもたちから回答がありました。パブリックコメントのほか、子どもへのヒアリング等で寄せられた声を条例に反映していきます。

たとえば…

子どもが意見を表したり参加したりできること

「子どもたちが自由に意見を言える場所を設ける必要があると思う。」
「大人が子どもの意見を尊重し、しっかり子どもと向き合ったという経験は、子どもにとっても今後の人生に大きくかかわると思う。」

いじめを止めること

「『相談』には『話を聞いてほしい』場合と『解決してほしい』場合がある。」
「いじめの相談は勇気がないとできないことだから、もっと楽にできるやつにした方がいい。」
「いじめなどの調査は、定期的に行ってほしい。」

子どもの居場所づくり

「子どもがみんなで自由に勉強できる場所がいろいろなところほしい。」
「中学生が思いっきり遊べるような場所を作ってほしい。」

学校ではこんな取組みもされています

市立小中学校では、授業の中で子どもの権利について考える取組みも行われています。



小学校5年生 道徳科

「こどものけんりってなあに？」（第1号）を見て感じたことを自由に発表しました。

「こどものけんりってなあに？」は右記の二次元コードからご覧いただけます。



小学校6年生 社会科

「子育て支援の願いを実現する政治」という単元の授業で公園づくりについて考えました。「こどものけんりってなあに？」（第1号）の内容を見て、自分にとって大切な権利について考えました。

教育長と話そう！スクール・ミーティング

11月17日、教育長が第二中学校を訪問し、生徒会の皆さん6名と、クラスの雰囲気や部活動のこと、子どもの権利について意見交換をしました。他にも、自分たちに関わるルールの決め方のこと、多様な意見を言い合えることの大切さなど、生徒たちの率直な質問や日ごろ感じていることなどを語り合いました。



あなたも、子どもの権利について、一緒に考えてみませんか

来春3月29日（水）には、中高生世代向けのワークショップ「Teensムサカツ」を開催します。未来をつくる第一歩を一緒に踏み出してみませんか。対象は市内在学・在住の中学・高校生世代です。参加者募集のお知らせは市報2月15日号に掲載予定です。

問合せ 指導課 指導主事 TEL (60) 1898 / 子ども子育て支援課 子ども政策係 TEL (60) 1851

これからの 幼児教育を みんなで考える

シンポジウムを開催しました

9月17日（土）に武蔵野公会堂において、シンポジウム「これからの幼児教育をみんなで考える」が開催されました。河邊貴子さん（聖心女子大学現代教養学部教育学科教授）による基調講演（「幼児期だからこそ大切にしたいこと」と、幼児教育関係者によるパネルディスカッションが行われました。当日は約200名（オンライン視聴含む）の市民、幼児教育関係者が参加し、多くの方が幼児教育に関心を寄せられていました。



パネルディスカッションの様子



基調講演の様子

今後の取組み

- ・ 保育園や幼稚園、認定こども園と小学校との連携
- ・ 幼児教育と小学校教育の接続の仕組みの整備

令和3年11月に発行した「武蔵野市生きる力を育む幼児教育振興検討会議報告書」の周知リーフレットを作成しました。子ども育成課、各市政センター、各図書館、子育て支援施設等で配布しています。市ホームページからご覧いただけます。



問合せ 子ども育成課 保育幼稚園係 TEL (60) 1854

学校・家庭・地域の協働体制について

熟議しています

現在、武蔵野市学校・家庭・地域の協働体制検討委員会では、学校・家庭・地域が互いの意見を伝え合い、それぞれの状況を理解し合い、連携・協働をすすめる場の必要性について議論しています。

「子どもの豊かな学び・育ちを支える」という思いと理念のもと、この間、学校教育の様々な関係者が集う場においても、機能を充実する「開かれた学校づくり協議会」に期待することや課題などについて熟議しています。

熟議ってなに？

「熟議」とは、多くの当事者が集まって、課題について熟慮（じっくりと考えること）し、議論することにより、互いの立場やそれぞれの役割への理解を深め、すすんで取り組む活動を生み出そうとするものです。これからの「開かれた学校づくり協議会」では、最も重要な活動となります。

どんな意見が出されているの？

「学校と信頼関係を築き、分からないことをきちんと聞いて理解ができれば、もっと主体性をもった活動をしていけるのではないか」、「開催回数や委員が増えると、その分負担も増えるかもしれないが、活動の達成感があれば負担感は減らすことができるのではないか」、「地域のつながりがあるので、学校は上手に甘えてほしい」などといった意見が出て、まさに互いの思いを伝え合い、議論を深める場となりました。

こうした熟議による意見も一つのパブリックコメントとして反映した上で、もうすぐ最終的な報告書が完成します。

教育委員・社会教育委員・校長の懇談会での熟議の様子



問合せ 指導課 教育推進室 TEL (60) 1241

市内中学校総合体育大会の結果

8月10日から11月6日にかけて、武蔵野総合体育館などで市内中学校総合体育大会が行われました。

今年は13校が参加し、全10種目の競技を行いました。陸上競技大会では、女子共通1500m走で新記録が出るなど、生徒は持てる力を存分に発揮していました。

3年ぶりの開催！



種目	性別	学年	優勝	準優勝	三位
バスケットボール	男		一中	三中	二中
	女		藤村女子中	六中	吉祥女子中
バレーボール	女		成蹊中	五中	都武蔵中
バドミントン	男	1	三中	一中	四中
	女	1	一中	三中	四中
	男	2	四中A	一中A	一中B
	女	2	四中	三中	一中
卓球	男		三中	成蹊中	四中
	女		三中	成蹊中	武蔵野大中
剣道（個人戦）	男	1	武蔵野大中	成蹊中	武蔵野大中・二中
	女	1	武蔵野大中	成蹊中	吉祥女子中・吉祥女子中
	男	2	聖徳中	法政大中	成蹊中・都武蔵中
	女	2	成蹊中	成蹊中	成蹊中・成蹊中
	男	3	成蹊中	成蹊中	成蹊中・武蔵野大中
野球	男		三中	成蹊中	二中・六中（合同）
	女		一中B	成蹊中A	一中A
ソフトテニス	女		六中A	成蹊中A	四中A
サッカー	男		成蹊中	五中	都武蔵中
陸上	男		四中	都武蔵中	六中
	女		四中	二中	成蹊中
硬式テニス	男		成蹊中A	成蹊中B	都武蔵中A
	女		都武蔵中A	五中A	二中A

問合せ 指導課 TEL (60) 1897

武蔵野市ラジオ体操会連盟会長が東京都スポーツ功労賞を受賞！



宮下みさ子氏がスポーツ・レクリエーションの普及・振興に顕著な功績があった者として東京都スポーツ功労賞を受賞しました。

長きにわたりラジオ体操会連盟を支え、誰でも楽しめるラジオ体操等の普及に尽力されました。

問合せ 生涯学習スポーツ課 スポーツ推進係 TEL (60) 1903

五大学共同講演会基調講演を開催

10月に武蔵野地域五大学共同講演会2022を開催しました。10月7日には、「みんながつくる<社会>へー人生100年時代の「学び」ー」について牧野篤先生（東京大学大学院教育学研究科教授）の基調講演を公会堂で行いました。福祉と生活の融合、シェアリング・エコノミーの実験など、新たな試みの実践例を通して多世代交流、地域の居場所づくり等の「ちいさな社会」づくりの取組みについて学びました。

問合せ 生涯学習スポーツ課 生涯学習係 TEL (60) 1902

教育委員会の会議

7月～11月

■主な議案

- 令和4年度武蔵野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書（令和3年度分）について
- 武蔵野市文化財保護委員の選任について

■主な報告事項

- 旧赤星鉄馬邸の国の登録有形文化財（建造物）登録について
- 教育部業務状況報告（6～8月、9～11月）について
- 武蔵野市学校・家庭・地域の協働体制検討委員会 中間まとめについて



▲過去の会議の議事録

今後の定例会の予定

令和5年 1月5日（木）午前10時～、2月8日（水）午前9時30分～、3月2日（木）午前10時～

※傍聴可能です。変更する場合がありますので、最新の情報はHPからご確認ください。



▲開催案内

問合せ 教育企画課 教育企画係 TEL (60) 1894

社会教育委員の会議

7月～11月

■主な協議・報告事項

- 東京都市町村社会教育委員連絡協議会第五ブロック研修会について
- 全国及び関東甲信越社会教育研究大会について
- 武蔵野市学校・家庭・地域の協働体制検討委員会 中間まとめについて
- 「(公財)武蔵野文化生涯学習事業団」文化施設・事業について

問合せ 生涯学習スポーツ課 生涯学習係 TEL (60) 1902

子育てや学校生活で悩んでいる方へ

教育支援センターでは、専門の相談員（臨床心理士）が、子育て、心や身体の発達、いじめ、不登校などの相談をお受けします。

教育相談 ☎0422-60-1899

所在地：吉祥寺北町4-11-37

受付：月～金曜日（祝日除く）9：00～17：00

